

令和5年度『チーム入二』（地域学校協働本部）運営計画

1 『チーム入二』（地域学校協働本部）とは

- ・チーム入二は、入新井第二小学校の教育活動を支援する、地域の方々や保護者で構成されるボランティア組織です。
- ・これまで個々で活動してきたボランティアグループを一つの組織にまとめる形で令和5年4月に設立する。

2 チーム入二（地域学校協働本部）設立の背景と目的、期待される効果

〔背景〕

- ・子どもたちの安全の確保、多様な体験などによる「生きる力」の育成。
- ・近年、急激な社会の変化に伴い、子どもたちを取り巻く状況や学校が抱える課題は、ますます複雑化・多様化。
- ・いじめや不登校児童の増加など、多様な児童及び保護者等への対応が必要。
- ・地域においても家族形態の変化や価値観・ライフスタイルの多様化により、地域社会の繋がりが希薄化。

〔目的〕

- 学校、家庭、地域の連携・協働により、子どもたちを見守り育てていく教育環境をつくり「地域とともにある学校」をつくる。
- 地域資源を生かして豊かな教育を進め、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む。

〔期待される効果〕

- 地域資源を活用し、教育活動を展開することで持続可能な学校運営ができる。
- 様々な人が交わり、参加することで学校を核とした新たなコミュニティ創出の仕組みができ、地域住民の連携や地域活動の発展へと繋がる。

3 組織図（裏面参照）

4 規約（令和5年4月版）

- 一、『チーム入二』への申し込みは、在校生は随時可能とし、本校に児童が在籍していない新メンバーは各グループの代表者が面接をした後、各グループに加わることとする。
- 一、名簿の登録は、申し込みをした年度の3月末までとする。次年度も活動する場合は、継続申請を提出する。
- 一、ボランティアスタッフとして謝礼金は発生しない。
- 一、必要な物品については、チーム入二の年間予算の範囲内で、地域コーディネーターが購入する。
- 一、入二小の授業を支えるスタッフとして教職員と同じ意識で参加し、学校の中で知りえた情報を他言しない。
（個人情報保護法）
- 一、来校する場合は、『チーム入二IDカード』を身に付ける。
- 一、メンバー個々への連絡は、主に各グループリーダーを通して行う。
- 一、コミュニティルームを活動の拠点とし、活動する場合は事前に各グループリーダーが予約をする。

5 運営に関する年間予定

- （4月）『チーム入二』懇談会（顔合わせ） （4月）英語ボランティア研修会（授業の流れやねらいの説明）
- （9月）リーダー会議（中間報告） 2月（メンバー募集：新一年生保護者会）3月（まとめの会）